No. 450

早稲田大学 英作文・要約 最新傾向と攻略【政経・法・国際教養・文・文化構想】

早稲田の「書く」は学部ごとに別の型。政経・法は論理の弱点を突く論述、国際教養は意見・グラフ・日本語要約、文・文構は4〜10語の英文要約。2026年度の公開問題で確かめた攻略法。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. 2026年度の政経と法は、どちらも「主張の論理の弱点」を英語で説明させた
2. 国際教養W1は理由が多いほど高評価。W2は最重要の傾向を必ず入れる
3. 文・文構の要約は4〜10語。本文と3語以上続けて同じ語は使えない

◆ 2026年度「書く」設問マップ

大学が公開した2026年度の問題と、解答例・出題の意図で確認。

学部	設問	2026年度の指示	大学が示す評価の観点
政経（総合問題Ⅲ・15点）	英語の論述1題	与えられた主張の弱点を1つ以上論理的に説明し、それを踏まえて意見。2段落以上	主張を分析し、よく構成され十分に展開された英文で意見を述べる力
法（Ⅵ・Ⅶ）	論理の説明＋意見	Ⅵ 数字か具体例を使い、2つの議論の論理の問題を説明／Ⅶ 大学でやりたいボランティアを1段落、理由2つ以上	状況設定の正確な理解と論理的な説明（Ⅵ）、具体性と説得力（Ⅶ）
国際教養（Writing 60分）	W1意見／W2グラフ／W3日本語要約	語数の指定なし。解答欄の枠内に書く	W1 理由は1〜4つ、多いほど高評価／W2 最も重要な点への言及／W3 直訳でなく要約
文・文構（Ⅴ）	英文要約	書き出しに続けて4〜10語。本文の3語以上の連続は使用禁止（文学部の問題で確認）	英文を理解し、文法的に正しい英語で筋の通った要約を書く力

2026年度の発見：政経と法が同じ方向を向いた

政経は「主張の弱点を説明してから意見」、法は「議論の論理の問題を数字や例で説明」。法の記述は2023〜2025年度、Eメール・案内文などの課題英作文と、風刺画や地図・グラフのパラグラフの組み合わせだった（原田英語の分析）が、2026年度は論理の説明と意見に変わった。政経の大学解答例は、条件をつけずに言い切る語（unacceptable）を弱点として突くところから始まる。**論理の誤りの型を英語で言えること**が、2学部に共通する最新の武器になった。

◆ 論理の誤りを英語で指摘する5つの型 5

例文はすべてオリジナル。誤りを「名指し→数字・例で示す」の2段で書く。

☐ 1 母数のすり替え

大きさの違う集団の割合を、そのまま比べている。全体に対する割合を計算し直して示す。

> Half of the 20 first-year members prefer online meetings, but they make up only 10 of the club's 80 members.
> 1年生20人の半数がオンラインを好むが、部員80人のうち10人にすぎない

☐ 2 逆は必ずしも真ならず

「AならばB」から「BならばA」を導いている。反例を1つ挙げれば崩れる。

> All doctors have studied biology, but not everyone who has studied biology is a doctor.
> 医者は皆生物学を学んだが、生物学を学んだ人が皆医者とは限らない

☐ 3 言い切りの語

always / never、completely ban、条件のない unacceptable のような強い言い切りは、例外や妥協の余地を狭める。反例や必要な条件を1つ示せば弱点になる。

> The word “never” leaves no room for reasonable exceptions.
> 「決して」という語は、もっともな例外の余地を残さない

☐ 4 条件の束ね方

別々の条件を and で1つにまとめると、どれか1つだけ当てはまる場合が抜け落ちる。条件を分けて検討する。

> The statement treats three separate problems as if they were one.
> この主張は別々の3つの問題を1つであるかのように扱っている

☐ 5 相関と因果の取り違え

同時に起きているだけで原因とは限らない。第3の要因を挙げる。

> Students who eat breakfast may get better grades simply because they also sleep more.
> 朝食をとる生徒の成績がよいのは、単によく眠っているからかもしれない

答案見本：法Ⅵ型（オリジナルの議論）

(1) 生徒の40%は徒歩通学でその75%が昼休みの延長を希望、60%は電車通学でその30%が希望。学校は「大半の生徒が延長を望む」と結論した。／ The school compares percentages of two groups of different sizes. In fact, only 30% of all students (75% of 40%) are walkers who want a longer break, and only 18% (30% of 60%) are train users who want one. Together, that is 48%, which is less than half. ／ (2) 昨年の合格者は全員毎日勉強していた。兄も毎日勉強しているから必ず受かる。／ The argument wrongly assumes that the converse of a true statement is also true. Even if every successful student studied daily, this does not mean that everyone who studies daily will pass. For example, a student may study every day but use ineffective methods. ／ 誤りを名指し→数字・例で示す→正しい結論、の3文が基本形。

答案見本:政経Ⅲ型(2段落・151語)

問(オリジナル):次の主張の弱点を論理的に説明し、それを踏まえて自分の意見を2段落以上で述べよ。“Smartphones distract students, so all high schools should completely ban them on campus.” ／ **The main weakness of this statement is that** it treats smartphones only as a source of distraction. In reality, many students use them to check train delays, contact their families in an emergency, or look up information during class activities. **Moreover, the word “completely” leaves no room for** reasonable exceptions, such as students with diabetes who check their blood sugar with an app. **Finally, the statement assumes that** a ban would end distraction, but students who do not want to study can easily find other ways to avoid it. ／ **Therefore, I believe** schools should set clear rules instead of banning smartphones entirely. **For example,** students could be required to keep their phones in their bags during lessons but be allowed to use them during breaks and for activities approved by teachers. Such rules would reduce distraction while teaching students to manage technology responsibly, a skill they will need long after graduation. ／ 第1段落＝弱点3つ、第2段落＝弱点を踏まえた代案。

◆ 国際教養 Writing:大学の評価ポイントから逆算 4

2026年度は3タスクとも解答例を示さず、評価の観点(解答のポイント)だけを公開した。

- ☐ **1 W1:理由は3つ書く**
理由は「最低1つ、最大4つ。多く挙げるほど高く評価」。どちらの立場でもよく、問いの立て方の不備を論じてもよい。理由1つでも条件は満たすが、18分なら理由3つを各1〜2文でが現実的。

- ☐ **2 W2:最重要の傾向を外さない**
設問は「最も重要な事実・傾向を2つ以上」。大学は注目点をおおむね重要な順に挙げ、最も重要な点への言及を期待した。全体の大きな変化から書くと組み立てやすい。理由を添えると評価される。

- ☐ **3 W3:訳すな、まとめよ**
英文を日本語で要約する。大学は「直訳ではなく適切に要約」「文脈を理解した適切な日本語」と明示。主張・根拠・提案の骨組みを残し、具体例と数字は必要なものだけ。

- ☐ **4 英語は平易でよい**
W1の観点は「明確な英文で、つづりと文法の誤りが最小限」。凝った語より、誤りのない言い切りの文を重ねる。

答案見本:国際教養W1型(理由3つ・108語)

問(オリジナル):Is it better to live in a big city or in a small town when you are young? Why or why not? ／ I think it is better to live in a big city when you are young, **for three reasons. First,** cities offer more jobs and internships, so young people can try different kinds of work before choosing a career. **Second,** living among people from many backgrounds teaches you to communicate with those who think differently. **Third,** cities have more museums, concerts, and libraries, which allow young people to develop new interests at little cost. **Of course,** city life can be expensive and stressful. **However,** these costs are easier to handle when you are young and have fewer responsibilities, so youth is the best time to enjoy what cities offer.

◆ W2:グラフの要点を押さえる決まり文句 6

- ☐ **The most striking feature of the graph is that 〜** ★★★ … グラフで最も目を引くのは〜だ
最重要の傾向を1文目に置く

- ☐ **〜 is projected to rise sharply by 2050.** ★★★ … 〜は2050年までに急増すると予測されている
予測値は is projected / expected to で

- ☐ **In contrast, 〜 remained almost unchanged.** ★★☆ … 対照的に〜はほとんど変わらなかった
変わらない所も重要な事実になる

- ☐ **The gap between A and B is widest among 〜** ★★☆ … AとBの差は〜で最も大きい
比較の軸(年齢・地域)を1つ決めて書く

- ☐ **One reason for this may be that 〜** ★★★ … その理由の1つは〜かもしれない
理由の推測は加点対象。断定しない

- ☐ **This trend could have a major impact on 〜** ★★☆ … この傾向は〜に大きな影響を与えうる
最後に社会への意味づけで締める

◆ 文・文構:4〜10語要約の技術 4

- ☐ **1 書き出しの文法に続ける**
2026年度の文学部は主語だけの書き出しで、続きは動詞から。because の後なら主語＋動詞、how の後なら節。書き出しを先に読んで品詞を決める。

- ☐ **2 具体を抽象に格上げ**
本文の具体物(laptops・tablets)は上位語(digital devices)でまとめる。4〜10語に入るのは本文全体の中心だけ。

- ☐ **3 品詞を変えて3語連続を避ける**
本文の名詞を動詞に、動詞を名詞にすると自然に別の語順になる。書いたら3語ずつ区切り、本文に同じ並びがないか目でなぞる。

- ☐ **4 数え方で迷う語を使わない**
短縮形(don't)やハイフン語は1語か2語か迷う。do not のように開いて書き、指で4〜10語を確かめる。

オリジナル演習：4〜10語要約

本文：In lecture halls today, most students type on laptops, capturing nearly every word the professor says. Yet some researchers believe this habit comes at a price. Because typing is fast, students tend to copy sentences mechanically instead of thinking about them. Writing with a pen is slower, so it forces students to choose what matters and put it in their own words. That extra effort, the writer argues, is exactly what turns information into understanding.
／ 書き出し：Taking notes by hand is valuable because … ／ 模範解答：**it makes students select and rephrase what they hear**（9語）。because の後なので主語＋動詞。choose→select、put it in their own words→rephrase と言い換え、本文と3語以上続く並びはない。

◆ 早稲田の答案で落とす所 6

☐ ~~× 要約：… because it forces students to choose~~
○ **… because it makes students select …**
本文と3語以上続く並びは使えない

☐ ~~× 要約：… because students' deeper understanding~~
○ **… because it makes students select and rephrase …**
because の後は主語＋動詞の節

☐ ~~× 法VI：This argument is strange and wrong.~~
○ **誤りを名指しし、数字や例で示す**
指示は「数字か具体例を使って説明」

☐ ~~× 政経：いきなり I agree / I disagree から書く~~
○ **主張の弱点の説明→意見の順に書く**
設問の順序どおりに段落を分ける

☐ ~~× 国際教養W1：理由を1つ挙げて終える~~
○ **理由を2〜3つ、それぞれ具体的に**
1つでも可だが、多いほど高評価（大学の観点）

☐ ~~× 国際教養W2：数字を左から順に読み上げる~~
○ **最も重要な傾向から2つ以上**
最も重要な点への言及が期待されている

◆ 2027年度に向けて 3

☐ **1 予想：論理の説明は続く可能性**
政経・法とも2026年度に「論理の弱点」を問うた。続く保証はないが、5つの型を英語で言える準備はどの形式の論述にも効く。

☐ **2 法の課題英作文にも備える**
Eメール・案内文・資料分析が出た年がある（原田英語の分析）。条件をすべて入れる練習も並行する。

☐ **3 要確認**
語数・段落数・禁止事項は年度で変わりうる。大学は解答例・出題の意図と問題を公開しているので、**受験年度の最新の問題**で指示を確かめる。

◆ 確認テスト

1 2026年度の文学部の要約で使えないのは、本文と ＿＿ 以上続けて同じ語の並び。
a 2語　b 10語　c 3語　d 5語

2 2026年度の国際教養W1の評価：理由は ＿＿ 高く評価される。
a 多いほど　b 短いほど　c 日本語で書くほど　d 1つにしぼるほど

3 生徒の40%のうち75%が賛成なら、全体の ＿＿ が賛成。
a 115%　b 75%　c 35%　d 30%

4 2026年度の政経 総合問題Ⅲで求められた段落数は ＿＿ 。
a 2段落以上　b 1段落　c 指定なし　d ちょうど3段落

5 All doctors studied biology. But not everyone who studied biology is a ＿＿ .
a doctor　b teacher　c patient　d student

◆ 書いたら採点してもらう 2

英作文超絶採点くん（原田英語） 無料
論述・要約の答案を一文ずつ添削・採点。条件を守れたかの確認にも。
haradaeigo.com/eisakubun-saiten-ai/

早稲田大学 学部別英語 形式マップ（原田英語）
全10学部の時間・記述・読む量・共テの要否を比較。
haradaeigo.com/waseda-english-faculty-map/

◆ 解答

1 3語 指定語数は4〜10語
2 多いほど 最低1つ、最大4つ
3 30% 0.4×0.75＝0.3（母数に注意）
4 2段落以上 two or more well-formed paragraphs
5 doctor 逆は必ずしも真ならず

参考資料 早稲田大学政治経済学部｜2026年度 一般選抜（総合問題）解答例／早稲田大学 入学センター｜2026年度 政治経済学部 入試問題／早稲田大学法学部｜2026年度 法学部一般選抜の解答例・出題の意図公表について／早稲田大学 入学センター｜2026年度 法学部 入試問題／早稲田大学国際教養学部｜2026年度 英語（Writing）出題意図及び解答例／早稲田大学 入学センター｜2026年度 国際教養学部 入試問題／早稲田大学文学部｜2026年度 英語 出題意図及び解答例／早稲田大学 入学センター｜2026年度 文学部 入試問題／早稲田大学文化構想学部｜2026年度 英語 出題意図及び解答例／原田英語｜早稲田大学法学部・自由英作文問題完全攻略ガイド（2026年版）／原田英語｜早稲田大学学部別英語入試難易度・形式マップ

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳（PDF印刷）・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート（全453本・無料）